

9月15日～9月21日 商品検査実績

●微生物検査 247 検体

検査の結果特に問題はありませんでした。

●理化学検査 91 検体

食品添加物検査	24 検体実施しました。検査の結果問題ありませんでした。	
残留農薬検査	外部検査機関に4 検体依頼しました。検査の結果問題ありませんでした。	
簡易農薬検査	10 体実施しました。検査の結果問題ありませんでした。	
PCR検査	畜種判別検査	6 検体実施しました。検査の結果問題ありませんでした。
	GMO検査	7 検体実施しました。検査の結果問題ありませんでした。
	米のDNA異種米判定	外部検査機関に依頼した1 検体において、異種米混入が疑われる結果となったことから調査した結果、意図的な異種米の混入ではなく、精米機等に残っていたものが混入したと考えられました。また、外部検査機関に依頼した2 検体において、異種米混入が疑われる結果となったことから調査を進めています。
	コシヒカリ品種判定	4 検体実施しました。検査の結果問題ありませんでした。
米鮮度判定	3 検体実施しました。検査の結果問題ありませんでした。	
卵鮮度判定	今週は実施しておりません。	
アレルゲン検査	4 検体実施しました。検査の結果問題ありませんでした。	
ヒスタミン検査	9 検体実施しました。検査の結果問題ありませんでした。	
アフラトキシン(カビ毒)	5 検体実施しました。検査の結果問題ありませんでした。	
放射性物質検査(スペクトロメータ※)	12 検体(米3 検体、野菜1 検体、果物6 検体、畜産1 検体、飲料1 検体) 実施しました。全て検出下限値(約20Bq/kg) 以下となりました。	

※NaI シンチレーションスペクトロメータ：遮蔽体付検査機器で核種を特定できるもの：ヨウ素 131、セシウム 134、セシウム 137 を測定

品質保証室で実施している商品検査についてお知らせします

・食品添加物検査

食品の腐敗や変敗を防ぐために、ちくわやかまぼこなど、漬物、しょう油、マーガリンなどの食品には、ソルビン酸や安息香酸などの「保存料」の使用が認められています。また、ハムやソーセージなどの食品には、肉の色を保つために亜硝酸ナトリウムなどの「発色剤」の使用が認められています。

これらの食品添加物を使用する際は、使用が認められた食品であること、また、使用基準が定められた食品添加物では、使用量を守ることが求められます。

ならコープでは、保存料や発色剤などの食品添加物が使用されている場合は、使用量に問題がないか、また、食品に表示されずに、使用されていることがないかなどを検査(外部検査機関への依頼も含む)で確認しています。